

腹腔鏡下胃切除術を受けられる患者様へ

NO.1

氏名(@PATIENTNAME)

担当医師()

受持ち看護師()

月日	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
経過	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目~7日目	8日目~退院
達成目標	落ち着いた気持ちで手術を受けることができる	呼吸器症状(咳・痰)や発熱がなく手術を受けることができる 	痛み出現時、薬使用にて軽減することができる	痛み出現時、薬使用にて軽減することができる ベッドサイドで排泄をする事ができる 水分をとることができる	病棟内を歩行する事ができる 食事が開始できる	院内を歩行することができる 37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる	37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 分食について知ることができる	37.5度以上の発熱なく過ごす事ができる 吐き気なく過ごすことができ、ダンピング症状を理解することができる 食事療法について理解することができる	自己分食できる
治療	採血があります	術後の深部静脈血栓症予防の為に、手術室へ行く前に弾性ストッキングを着用します。リスクに応じて器械で下肢のマッサージをしたり、薬剤を使用したりする事があります	手術後、心電図、血圧計、フットポンプ、酸素マスクをつけます	朝、酸素マスク、心電図をはずし、鼻の管を抜きます 	6時、10時、14時、18時に検温を行いません			10時に検温を行います	
処置	お腹の除毛を行いません		点滴があります	(ガーゼや防水テープを張り替えます)	背中痛み止めの管をぬきます	ドレーンを抜去します 			
薬剤	今まで飲んでた薬があれば医師の指示に従って下さい			点滴があります	点滴があります(食事が半分摂取出来れば終了です)				
検査		手術室で鼻から胃までチューブを入れます 手術は、時 分頃からです	痛みが強い時は痛み止めを使います	X線撮影があります		朝、X線撮影と採血があります			
安静度	病院内自由です 病棟外にでられる時は看護師に声をかけて下さい 	トイレを済ませ、術衣に着替え、弾性ストッキングを着用し、歩いて手術室に向かいます。	ベッド上安静ですが体の向きを変えることはできません 血栓予防の為足を曲げたり伸ばしたりしましょう 	ベッドを起こすことができます 調子が良ければベッドサイドに座ることができます	病棟内を歩行できます(初めて歩く時は看護師が付き添います) ストッキングを脱ぎます	院内自由です(病棟外へ出られる時は声をお掛け下さい) 			
栄養	夕食まで食事がとれます 夜9時までは水分は飲めます。(病状により前日から、絶食で水分だけになることもあります)	水や食事をとることはできません うがいはできます 	絶飲食です	医師診察後、水分が開始になります	お食事(五分粥)が開始になります	全粥になります	胃分割全粥食になります	胃分割全粥食です	
清潔	手術する部分の毛を除いた後に入浴して下さい 			手術後はタオルで身体を拭きます 		シャワー浴をすることができます		入浴できます 	
排泄			麻酔がかかった後に尿の管が入ります	診察後尿の管を抜く予定です ベッドサイドで排泄する事ができます	手術前と同じように排泄する事ができます				
教育指導説明	入院時オリエンテーションを行います 主治医及び麻酔科医が手術や麻酔について説明します 手術室看護師が訪問します		ご家族に手術結果を説明します。	ご本人に手術の結果の説明をします 		食事を食べる時の注意点について看護師より説明があります。パンフレットをお渡しします		看護師より、退院後の注意点について説明があります	